

「自分がカルトに入るわけがない」
と、思っている



○自分の生き方に悩んだことのある人

○家庭や人間関係の悩みをひとつでも抱えている人

○新生活を楽しく過ごすため、
新しいことに取り組もうと考える人

○ボランティアなどの社会貢献に取り組もうと
思ったことのある人

このような思いはとても大切であり、
誰しも持っていて当然です。
しかしカルトは、このような誰にでも
ある思いを利用して、巧みにあなたを
勧誘してきます。



上記の思いが、1つでも当てはまる人は
カルトに入る可能性があります



誰でもカルトに
入りうるのです

カルトは、アンケートなどによって、ターゲットの
悩みや希望を見つけ、それにつけこんだ目標を掲
げ、勧誘を行うことによって入会に導くのです。

寺院の皆さまへ

この冊子は、それぞれの寺院の現場をあずかる私たちが、少しでもカルトの問題と危険性についての理解を深めることを目的として製作致しました。（なお、この冊子自体をこれから進学や就職など新しい生活をスタートさせる若者たちや門信徒へ直接渡すことによって、注意喚起を行える体裁にもなっております。）

「子ども・若者ご縁づくり推進室」では活動テーマとして、ご縁を「つくり」「つなぎ」「深める」をかねて、阿弥陀さまのご縁に子ども、若者、そして大人も共に遇ってこうと活動を推進しております。しかしながら、小さい頃にお寺とご縁があった若者であっても、人生に問いを持ち真剣な悩みをかかえた時に、積極的にアプローチをかけてくる大半がカルトというのが実状です。つまり、ほとんどの若者たちがカルトを選ぶか無宗教を選ぶか以外に選択肢がない状況に置かれているといえましょう。

私たちはこのような危機感を背景として、それぞれの現場においてあらゆる方法でご縁づくりを推進していく必要があります。皆さまにおかれましては、ご縁を「つくり」「つなぎ」「深める」活動の中で、ぜひこの冊子をご縁のある若者や門信徒の方々へもお届け頂き、もって「あらゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、もって自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する」活動の一環として頂きたいと願います。

- 若者・門信徒がカルト被害に合わないよう注意喚起をしていきましょう。
- ネット上にはカルト被害者サイト、被害者家族の会の情報があります。

ご相談窓口

●全国霊感商法対策弁護士連絡会 TEL.03(3358)6179

発行：浄土真宗本願寺派 子ども・若者ご縁づくり推進室
事務局：〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

一生懸命なあなたほど要注意

No! Cult
ノー！ カルト



大切な人生を後悔しないため
カルト勧誘にご注意を



浄土真宗本願寺派
子ども・若者ご縁づくり推進室

? カルトって何?

【カルトとは】
正体を隠した勧誘により、人の労力と財産を奪って教祖など
トップの野心を満足させたり、組織の勢力を拡大しようとした
りする団体のことをいいます。

カルトによる被害

サークルに入会

勧誘により
サークルに入会。



サークル内で
友人・先輩ができます。

カルトの本来の活動に誘われます

- ・「入会したことは親に言わないように」などと言われることがあります。
- ・閉鎖的な環境で、指導者の思想だけが与えられます。
- ・団体の活動への参加等で、かなりの時間が失われます。
- ・「これはおかしい」「これは危ない…」と思っても、今までの人間関係や「脱会すると地獄に落ちる」といった脅しによって、実質的には脱会の自由はありません。
- ・次第に高額の献金が強要され、大きな経済的負担を負わされます。

脱会後の後遺症（例）

- ・カルトで受けた恐怖観念に縛られ、日常生活に支障をきたす。
- ・常に指示され行動してきたため、自分で判断できなくなり、指示してくれる人を探す。（指示依存症）
- ・判断を迫ると思考停止し、パニック症候がでる。
- ・はっきり断ることができない。
- ・正当な自己主張ができない。
- ・いい人・悪い人を極端に分けて考える。
- ・家族に対するマイナスイメージが残存する。
- ・都合が悪くなると、とりえず回避するため嘘をつく。



カルトは…

- ・あなたの人格を破壊します
- ・あなたとあなたの家族との関係を破壊します
- ・あなたの社会復帰を困難にします



カルトの勧誘方法 年々、巧妙になるその手口



カルト勧誘の一例を紹介します。あなたの大切な人生を台無しにしてほしくありませんから、くれぐれも注意をしてください。もしも気になることや困った時は、親やお寺に早く相談してください。

CASE 1 ～新生活の中で～

サークル活動の勧誘のように…

大学・職場にはカルトサークルが存在し、新生活を始めるあなたをターゲットにします。そういうサークルの人間は、友だちになろうとごく自然に近寄ってきます。サークルの名前と活動内容が変わってきたら要注意！『サークル』『集まり』など固有名詞のないサークルも要注意！

- ☑ SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) 等のダイレクトメール・メッセージ機能も危険なケースがあります。
- ☑ 新しい環境に慣れるまでの不安な状況につけ込まれないように注意しましょう。



CASE 2 ～街中で～

街頭募金やアンケートを装って…

募金やアンケートの協力依頼を装って、ごく自然にあなたに近づいてきます。目的などを質問しても、相手から適切な答えが返ってこないとき、また、活動内容がよくわからないときは要注意！

- ☑ こういう場合は決して名前や住所などは教えてはいけません。



CASE 3 ～友人関係の中で～

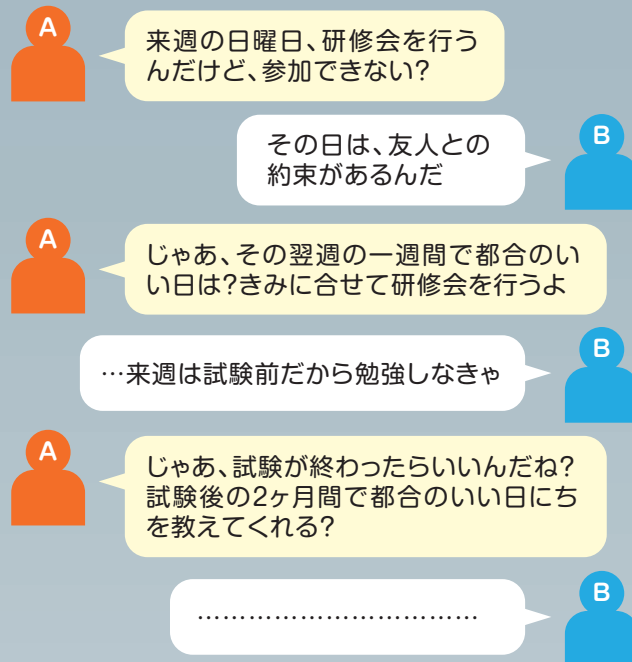
友人から「とてもいい研修があるからいっしょに行こう」と誘われたけど…

信頼できる友人から「実はおまえの人生が変わるような研修があるんだ。」と誘われました。このような場合も要注意！

- ☑ いくら信頼できる友人でも、核心を話したがない誘いにのってはいけません。



カルトによくある勧誘方法(会話例)



断り切れない人は危険！

カルトの勧誘を断るときに理由をつけると、それにつけこんでいきます。

興味のない話には
きっぱりと**NO!**

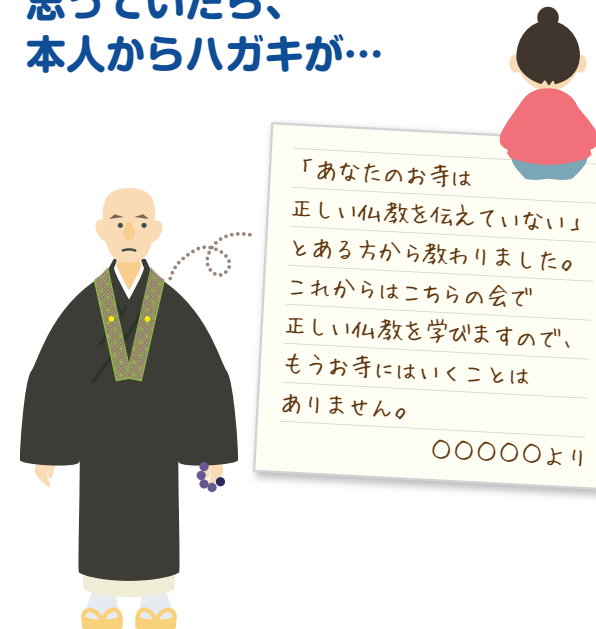
これらの勧誘方法は
ほんの一例です。
カルトはあの手この手を使い、
あなたを狙っています。

寺院の皆さまへ

CASE

～お寺にて～
熱心なご門徒さんほど…

いつもお寺に参っていたご門徒が突然お寺に来なくなりました。「体調でも悪いのかな」と思っていたら、本人からハガキが…



カルトの問題は、教義そのものよりはむしろその集団の実態とそこに起こっている被害の内容にあります。うそを並べ騙してでも入会させようとする勧誘方法、入会後の多大な時間的、経済的負担、さらに脅しに近い圧力を受けているため脱会が極めて困難なものになることなどです。熱心な門信徒ほど、カルトに引き込まれてしまうのです。

- ☑ カルト問題の脅威について、お寺で啓発をしていますか？